

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 4 月 18 日～平成 18 年 4 月 25 日)

平成 18 年 4 月 26 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

4 月 25 日

- ・推進部会（第 1 回）

【井口委員長、松尾委員、青江委員、野本委員、森尾委員】

宇宙開発に関する国内の動向

4 月 19 日（水）

- ・スクラムジェットエンジンの飛行実験結果についてプレスリリース 【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

宇宙航空研究開発機構が、オーストラリアのクイーンズランド大学への委託契約により、平成 18 年 3 月 30 日に実施した HyShot 飛行実験システムによるスクラムジェット燃焼器飛行実験について、同大学より送られた飛行データを解析した結果、同大学が開発を行った燃焼器模型部を覆うロケット先端部のノーズコーンが分離できず、燃焼器飛行実験は失敗したことが確認された。

失敗の原因究明は、契約に基づきクイーンズランド大学が

行うが、宇宙航空研究開発機構としても、機構内に調査検討チームを発足させ、今後、同大学からの情報の把握、機構としての対応策について検討を進める予定。

4 月 21 日（金）

- ・光衛星間通信実験衛星「きらり」の状況についてプレスリリース 【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

光衛星間通信実験衛星「きらり」のリアクションホイール 4 台のうち 1 台が平成 17 年 11 月に姿勢制御系から切り離されていたが、原因調査の結果、切り離されたホイールの回転数誤差モニタが一時的に異常値を示し、姿勢制御系の安全機能が働いていたと推定されたことを受けて、4 月 20 日（木）より、増田局にてホイールの再起動のためのコマンド送信作業を開始し、ホイール駆動回路及びホイール単体に問題がないことを確認した後、21 日（金）より、パース局からのコマンド送信により、切り離していたリアクションホイールを姿勢制御系に組み入れ、リアクションホイール 4 台全てを用いた姿勢制御モードに移行した。なお、その後の衛星の姿勢状態は正常。

宇宙開発に関する海外の動向

4 月 21 日（金）

- ・アトラス 5、通信衛星の打上げ成功【米】

4 月 20 日 20 時 27 分（世界標準時）、インターナショナル・ロンチ・サービスズ（ILS）社は、米国ケープカナベラル空

軍基地からアトラス 5 ロケットを打ち上げ、欧州の SES アストラ社（ルクセンブルグに本社）の商用通信衛星「アストラ 1KR」の軌道投入に成功した。打上げ時の重量は、約 4.3 t。

・米大統領、中国国家主席に宇宙分野での協力を提案【米、中】

4月20日（現地時間）、ブッシュ米大統領は、ホワイトハウスにおいて胡錦濤中国国家主席と会談を行った。会談後のプレスブリーフィングによると、同大統領は、米国航空宇宙局（NASA）長官を中国へ派遣し、月探査やデブリ低減などに関する協議を開始することを提案したとし、NASA長官の中国訪問時期は恐らく本年後半で、宇宙探査など両国が共同で関心を有する分野での協議を開始するだろうと述べたとしている。

4月24日（月）

・神舟7号、2008年9月打上げへ【中】

4月21日（現地時間）付報道によると、中国航天科技集团公司（CASC）の研究者である長征2Fロケット副総設計士が、宇宙飛行士3名が搭乗する「神舟7号」の打上げを、北京オリンピック（2008年8月8日～24日）後の2008年9月に実施する予定で、現在、宇宙飛行士候補者の選抜・訓練が行われていると述べたとしている。

4月25日（火）

・プログレス補給船の打上げに成功【露】

4月24日16時3分（世界標準時、以下同じ。）、バイコヌ

ール宇宙基地からソユーズロケットにより、国際宇宙ステーション（ISS）の補給物資を搭載したプログレス補給船が打ち上げられた。同補給船は、4月26日17時40分にISSとドッキングする予定。なお、同補給船には、2.5 tを超える食料、水、燃料等の物資が搭載されている。